

特集 **本の翼に乗って**

- 2~5面 図書委員の推し本&読書のはなし
- 6面 無人島に持って行くなら、この一冊
- 7面 YWCA×読書のバリアフリー

The Young Women's  
Christian Association

# YWCA

4

APRIL  
2024

No.779

〈第33総会期主題聖句〉

平和を実現する人々は幸いである  
—マタイによる福音書5章9節—

〈ビジョン〉

女性がリーダーシップを発揮し、  
人権・平和・環境を大切にする社会

〈ミッション〉

若い女性をエンパワーし、共に社会変革を進めます。

〈バリュー〉

キリスト教基盤 平和・環境 人権 セーフスペース

[www.ywca.or.jp](http://www.ywca.or.jp)

# YWCAの 図書室へ ようこそ!

読めないときは、無理をしない。読めるならば、読んでおきたい。  
新しい季節に、本と人をつなぐYWCAの紙上図書室をオープン。  
個性豊かな図書委員たちが、  
楽しくも刺激的な読書の世界へと誘います。  
一冊の向こうに、素敵な出会いが待っているかも。



イラスト/大島史子



# いま読んでほしい一冊



## 図書委員が語る

# 推しの一冊と読書のはなし

機関紙の書評欄で、会館の本棚で、読み聞かせや音訳などの活動で、図書館や書店で……さまざまな形で本と人をつないでいるYWCAの仲間たちが、紙上図書室の「図書委員」として推しの一冊をご紹介します。さらに、本を読むことについて思い思いに語ります。

この家は女性だった

## 『ちいさいおうち』

本の向こうには、作者という人間がいる。その人や背景を知ることによって本は輝きを増し、読む者の人生をより深めてくれる。

『ちいさいおうち』は、小さな家と、その周囲が田園から都会へ移りゆく物語を、季節や時代の流れと共に語っている。著者の絵本作家バージニア・リー・バートン（1909-1968）は、アメリカ東海岸の自然豊かなフォリーコーブで夫と子どもたちと暮らし、創作に励んだ。

大阪YWCA千里子ども図書室ボランティアスタッフ 酒井美奈

本は、よりよい世界へと進むための重要な手段」と説いた。そして常に子どもの視点で描いた。

## 女性たちをエンパワー

1942年、バートンは「私たちにとって本当の幸せとはなにか」を、子どもにもわかるように小さな家を主人公にした物語を創った。その家を「女性」とし、表紙に副題「エロヤSTORY」と記した。小さな家を取りまく周囲の環境の変化「社会の歴史 (social history)」その中で生きる「彼女」の物語。私は「再生の物語」でもあると思う。「HERSTORY」として

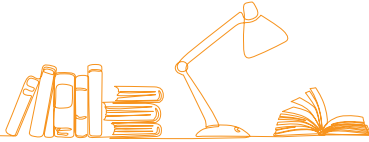
女性を鼓舞し、歴史 (history) は彼(予)だけのものではないことを暗に伝えたかったのではないかと、とも思う。「人間は大事にし合わなければなら

ない」と語ったバートンは、近所の主婦たちにデザインを教え、共に「フォリーコーブ・デザイナーズ」を立ち上げた。手仕事にこだわり、日常の風景をデザインにして作る彼女たちのテキスタイルは一世を風靡。結果的に女性たちのエンパワメントを促進した。バートンによればフォリーコーブは「ただの場所ではなく心のよりどころ」なのだ。作者がその人生で大切にしてきた



バージニア・リー・バートン 文・絵  
石井桃子 訳  
岩波書店 (2019年改版)  
1700円+税





無知にムチ打つ

## 『ハンチバック』

視覚障がいの方の読書はどうしているか——点字の本を指で読む。大活字版の本を目で読む。テキストデータを合成音声で聞く。そしてDAISY図書<sup>\*</sup>を耳で聞く。見えない・見えにくさはさまざまで、読書の形もそれぞれ違う。

私は「音声訳」という視覚障がい者の読書支援活動を長年続けている。本を丸ごと、表紙カバーや帯や奥付まですべての活字を朗読し、パソコンで録音図書にする。図や写真、グラフなども「聞いてわかるよう文章にして、ふさわしい場所に読み込む。20年ほど前はテープだったが、現在はDAISY図書だ。ITの発達と共に障がいのある方の環境も進化し、読書のバリアフリーが少しずつ増えてきた、と思っていた。

『ハンチバック』の書評の見出しに「紙の本はマチズモ」とあった。マチズモとはたくましい男、つまり男性優位主義。紙の本がなぜ？

名古屋YWCA会員 堀尾純子

書店に走った。主人公は紙の本を憎んでいた。本を持ってページがめくれる、読書姿勢が保てる、書店へ自由に買いに行けるなど「その特権性に気づかない『本好き』たちの無知な傲慢さを憎んでいた」これが、マチズモ＝健常者優位主義なのか。主人公は背骨が極度に湾曲する病で重度の障がい者だ。これは怒りの書だ。「健常者は呑気でいい」と二度も言われた。今の私そのものだと恥ずかしくなる。当たり前がまだ当たり前ではないことをこの本は突き付ける。自分の甘さにいたたまれない思いだ。読むには勇気がいるかもしれない。それでも読んでほしい。

<sup>\*</sup>Digital Accessible Information Systemの略。従来の印刷物での読書が困難な人々がアクセスしやすい電子書籍の国際規格となる情報システム。



市川沙央 著  
文藝春秋(2023年)  
1300円+税

日本兵1万人が消えた

## 『硫黄島上陸 友軍八地下二在り』

著者の酒井聡平さんは北海道新聞社の記者である。1976年生まれは太平洋戦争末期の激戦地で今なお民間人の立ち入りが禁じられたままの硫黄島に強い関心を抱き、一冊の本を著した。

その本は出征した祖父のこと、自らの生い立ちから始まり、硫黄島に向き合う理由が明かされる。ボランティアとして参加した戦没者遺骨収集団の作業の様子は貴重なルポルタージュである。また、死者2万人のうち1万人の遺骨が未だ行方不明という謎を追って、日米の機密文書を徹底調査してゆく過程はスリリングでさえある。そして彼が出会った元兵士や遺骨収集を続ける戦没者遺児といった人々との交流が胸を打つのは、お互いへの深い信頼と尊敬の念が描かれているからだろう。彼は自らを「旧聞記者」と称し、戦争の風化に徹底的に抗おうとする。彼が座右の銘としているのは高木

函館YWCA会員 丸山泉

いさおさんの詩『8月6日』の一節「忘れてはいけないことは、決して忘れてはいけない」という言葉である。忘れてはいけないことを記録するために言葉があり、本がある。

函館YWCAは2022年、「残された戦後、記者が見た硫黄島」と題し、酒井記者の講演会を開催した。この講演会の1年後に本書は出版された。記録媒体が多様化した現代でも、本はいつでも静かにそこにあり、読み手の呼吸に合わせ、言葉を深く心に届けてくれる。平和を願う者の、調べ、祈り、伝えるという働きのために、本はふさわしいものであると思う。



酒井聡平 著  
講談社(2023年)1500円+税

## 新しい門出に贈る一冊

気球に乗って大冒険

## 『新ドリトル先生物語 ドリトル先生ガラパゴスを救う』

横浜YWCA会員 桜井めぐみ

私のお薦めは、この冒険物語。ヒュー・ロフティング作の『ドリトル先生物語』シリーズをもとにした、生物学者の福岡伸一さんによるオリジナルストーリーです。

ドリトル先生がガラパゴス諸島の自然を守るため、本家でもおなじみのスタビンス少年とオウムのポリネシアを連れて気球に乗って冒険の旅に出ます。その間にはガラパゴスゾウガメとの出会いや南米エフアドルの大統領との対決、ビーグル号でガラパゴス諸島にやってきたダーウィンとの交流もあります。生き物たちがそれぞれを持ち味を生かしてガラパゴスを救う姿に力もらいました。ドリトル先生がどの生き物に対しても敬意をもって接している様子もとても好きです。

私は読み聞かせやストーリーテリングの活動を続けてきました。横浜YWCAでも「おはなし会」に関わっています。理由は「楽し



福岡伸一 著  
朝日新聞出版(2022年)1500円+税

いから」。おとなも子どもも物語の世界で自由に心を遊ばせ、また「今」という時に戻ってくる。その営みが好きなのです。私自身は子どもの頃、週末に図書館へ行くことを心待ちにしていました。最近は書店主催の読書会に参加しています。おしゃべりの延長のようなプチ読書会もいいなと思います。でも、私の家族は「読書は一人で静かに楽しみたい」と言います。人それぞれのスタイルやスタンスがあるんですね。

この春、皆さま一人ひとりに本との良い出会いがありますように。

さてどうするか

## 『これからを生きるあなたへ 聖書の知恵箴言31日』

仙台YWCA監事 大越美穂

仙台で小さなキリスト教専門書店を昨秋から運営しています。

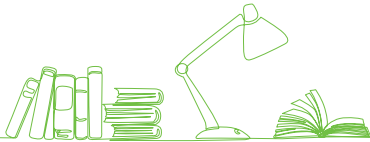
皆さんは普段、本にどのように出会われるでしょうか。私などは、お店で書棚を眺めていると、「本に呼ばれる」ことがあります。またお客様とお話をする中で、初めての本に出会うことも多く「私は、私に本を紹介してくれる他者を必要としている」と思います。

なんでもスピードが優先されがちで、本も「簡単に読める」「すぐにわかる」ことが誉め言葉のようにも思えます。でも実際には、読書する力とは、楽しかった読書の経験が後押しして、少しずつでも、積み上げられるものでしょう。一冊の本を読み上げた経験は、次の本との出会いに開かれていきます。そして「良い本だった」けれど、どこが良かったのか言葉にできないことがあります。「この本を読むことができ良かった」という体験そのものが「良い本」にする

のだと、私は思います。さて新しい門出にお薦めする本は、旧約聖書にある「箴言(しんげん)」の中から、31のテーマを取り上げたエッセイ集です。著者の小林よう子さんは青森県の八戸小中野教会の牧師。「箴言」とは古代ユダヤ教のことわざや格言の形をとって、生き方を教える書物です。「箴」は針の意味。時にピリッとする言葉もあります。聖書には、はっと気づかせ、時に慰め、励ます言葉がたくさん書かれています。聖書に限らず、皆さんの心に温かく残る本との出会いがあることを心から願っています。



小林よう子 著  
日本キリスト教団出版局(2023年)  
1200円+税



『ミミラピンアパイ』

## 『翻訳できない世界のことは』

仙台YWCA会員 森文字

あまり本を読まない人が、読書！と気張らずとも親しめるものがないと思つて、選びました。イラストと言葉による美しい一冊です。

タイトルの「翻訳できない」とは、訳せない、理解できないことではなく、その国の、とある一つの単語の内容を言い表すにあたつてたくさん言葉を並べなければその意味にたどり着けない、というもの。

逆に考えれば「難解」というよりも、たくさんの複雑な思いや状況を、その一つの「ことば」で表すことができる。ということでもあります。たとえば、ヤガン語（チリのティエラ・デル・フエゴ）近辺の原住民の言語の「ミミラピンアパイ」は「同じことを望んだり考えたりしている二人の間で、何も言わず、お互いに解している」という言葉にしたいと思つていなさうという単語。ふつとときちやいます。新しい門出の向こうには、今までと勝手が違つてしまへうかならないかと



エラ・フランシス・サンダース 著  
前田まゆみ 訳  
創元社(2016年)1600円+税

伝えきれないことが多々あり、なんでわからないの!?!と、もどかしく苛つくこともあるでしょう。やつてられん!と手放すことも、あります。でも、苛つき泡立つ思いの澱が沈んで、やがて澄んだ思いで、静かに、胸の底にある望みの形を見つめ、すくい上げ、何を伝えたい?なぜ伝わらない?どうしたら受け取ってもらえる?と、伝わる形を模索する絶好の機会でもあります。自分の思いを届けることを蔑ろにしないことは、相対する人も蔑ろにしないことにつながるはず。どうが新しい出会いが「ミミラピンアパイ」な、かけがえのないものとなりますように!

まさにYWCA

## 『とべバッタ』

京都YWCA会員 別所加恵

「多様性の時代」といわれる昨今。でも、やっぱり涼しい顔でスマートに、オシャレに何でもこなすヒトがカッコイイ!と好印象、高評価なのです。対してこの本に登場するバッタさんときたら、自分を食べようと狙うオソロシイものたちから隠れてビクビクビクビク。「もうこんな生活イヤだ!」と一大決心してジャンプ。一瞬間よりも高く昇りつめたものの、すぐに落下。そんな中で自分の背にあるハネに気が付いてバタつかせ、フラフラ〜バタバタ〜。「なんだい、あのみつともないとびかた!」とトンポにバカにされようとも、「まあ、おかしなとびかた!」とチョウたちにはやしたてられようとも、飛んでいきます。

『京都YWCA親子ライブラリー』

では、23年間「絵本を通じて心豊かな場をつくる」ことを目標として、内外で活動を続けてきました。野性味あふれ、豪快すぎる筆致



田島征三 作  
偕成社(1988年)1400円+税

で描かれるこの本を子どもたちに「読み語る」とき、毎回最後のページをめくりながら、はるかにとんでいくバッタさんを心が奮えるほどの祈りを込めて見送ります。抑圧される存在に生まれ、そこから立ち上がり、さらなる困難の中、自分が本来持っている「モノ」に気が付き、羽ばたいていく。まさにYWCAの合言葉「Rise up! (立ち上がる)」ではないか、と最近気が付きました。新しい一歩を踏み出そうとする人に、「あなたの内にある力を信じて」というメッセージと共に大型絵本で読み語りたい一冊です。とべ、バッタさん!!!



### 『山本健吉 基本季語五〇〇選』

山本健吉 著  
講談社 (1989年)3000円+税

京都YWCA会員 篠田茜

無人島での忙しくも（ひとりでやらなければならないことがたくさんあるはず）退屈な（話し相手がいない）日々、1020ページに及ぶこの文庫本を持参します。春夏秋冬と新年の代表的な500もの季語が古今の俳句とともに収められ、どこから読んでもOK。春であれば「山笑う」「竹の秋」など、一つひとつの季語に過去の文献から引かれた詳しい解説だけでなく、その季語のもつ質感も表現されています。読むだけでなく実際に俳句を作ってみたくもなれば、選び抜かれた俳句が素晴らしい「先生」になることは間違いありません。無人島で長く楽しめる一冊になりそうです。



### 『かいじゅうたちのいるところ』

モーリス・センダック 作  
じんぐうてるお 訳  
富士房 (1975年)1700円+税

名古屋YWCA会員 二宮由布子

無人島で暮らすなら、複雑な本はいらない。自己啓発も要らない。楽しくて自由な本がいい。私はこれを選ぶ。主人公のマックスはいたずらっこで、空想の世界に旅立つ。王様になってかいじゅうたちと遊ぶ。ふと、家に帰りたくなくて、現実に戻ると夕食が待っている。絵本の中のかいじゅうたちやマックスはとても魅力的だ。あざやかな絵や音を感じられる。マックスはいたずらっこだけど、愛されていて、絵本の中でも「改心」を求められないところがお気に入り。私も無人島で暮らすなら、ありのまま、空想の世界につかりたい……その後には現実に戻っていることを夢見て！

## 無人島に持って行くなら、この一冊

突然ですが、無人島に一人で暮らすことになったとします。一冊だけ本を持って行くとしたら、どんな本を選びますか？読書が好きなYWCA会員に聞いてみました。



### 愛蔵版 『星の王子さま』

サン＝テグジュペリ 作  
内藤 濯 訳  
岩波書店 (2000年)1600円+税

大阪YWCA会員 津戸眞弓

どこの海にある無人島？ 気候は？ 大きさは？ 植生は？ 住んでいる生き物は？ そこで過ごす年月はどれくらい？ まず「無人島」に興味を惹かれた。そして、いろいろなシチュエーションが思い浮かび、それぞれの場合に手元にあったらうれしい本を想像するのは、楽しい時間だった。迷った末に選んだのは『星の王子さま/The Little Prince』。多数の出版社からさまざまな日本語訳が出版されているが、無人島に持って行くのは、英語版がいい。王子さまが語った言葉の数々を、無人島で過ごす時間に反芻して自らの来し方を振り返ってみたい。



### 『愛するということ』改訳・新装版

エーリッヒ・フロム 著  
鈴木 晶 訳  
紀伊國屋書店 (2020年)1300円+税

神戸YWCA会員 福田百

この本を選んだ理由は、無人島という、人を愛するという働きかけができない状況で、たき火を見つめ、星空に囲まれながら、愛について考えてみたいと思ったからです。著者のエーリッヒ・フロムは、愛を「能動的な活動であり、与えることである」と考えています。また、人を愛するということは、「愛の行動のなかで他人の心にも愛を生むことができる」と信じていることであると語っています。人類への信頼・希望を失ってしまいそうな世の中から少し離れてみたときに、愛するということがどのように見えてくるのか、その変化を楽しんでみたいです。



## YWCA × 読書のバリアフリー

大阪YWCA

### 点字子ども図書室

本を選ぶ喜びと  
読む楽しさを

この図書室は、本を閲覧する施設ではなく、点訳図書の製作と郵送による貸し出しを行う場です。点訳とは活字で書かれたものを点字にして伝えること。1981年、大阪YWCA千里センター（当時）で開かれた点訳講習会の修了生が、児童書に特化した点訳ボランティアグループを結成したことから始まり、「子どもの点字図書が少ない」と耳にしていたからです。

83年には蔵書が100タイトルを超え、全国に郵送による無料貸し出しを



ていねいな校正により、正確で読みやすいと評価されている

開始。91年「大阪YWCA点字子ども図書室」と名称を変更。当初、一点ずつ手打ちをしていた点訳はタイプライターを経て、パソコン点訳になりました。各自が1冊の本を担当して自宅で少しずつ点訳、活動日にみんなで校正する。これを繰り返し1冊を終えたら、さらに3回の校正を重ね、極力間違いのない点字本を完成させます。点字プリンターで印刷し、製本、登録して、貸し出し（発送）する。3か月に1度、新刊を紹介する冊子『子どもの点字本』を発行、利用者へ送付しています。

蔵書は現在3900タイトル8000冊を超えました。児童書の点訳本としては日本一だとか。近隣の倉庫などを借りていますが、本の置き場は長年の悩みです。

最近、子どもたちが見学に訪れました。「こんなにたくさん本がある」と、うれしそうに書棚から本を取りだしては、ページをめくり、吟味するその姿に、読みたい本を選んで読むことの喜びは、誰もが同じなのだと感じました。

近年、IT化が進んでいますが、児童書の点訳は必要とされています。これからも、必要とする子どもたちへ読書の楽しさを伝え続けていきます。

大阪YWCA会員 竹内和子

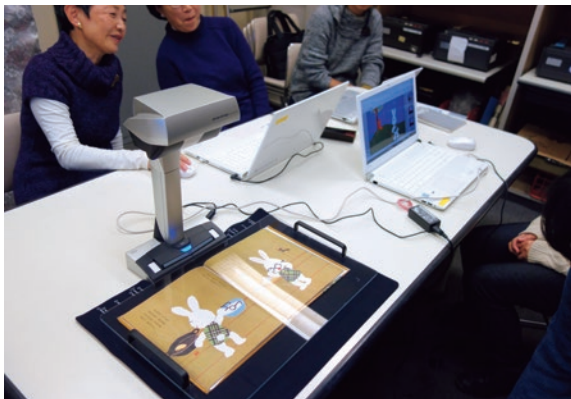
東京YWCA

### 読むことが困難な人々への支援

時代の変化に合わせて  
多様なニーズに応える

東京YWCAは、1976年から視覚障がい者や文字が読みにくい高齢者の読書権を支援するために、目の代わりとして正確な情報を伝える「朗読サービスポランテニア講座」を開講し、2000人のボランティアを養成してきました。その修了生により『暮しの手帖』や『明日の友』、パソコン雑誌などの録音テープを製作してきました。

2010年、デジタル化など時代の変化に伴い、CDのデジタル図書「音



専用のスキャナーで原本（絵本）から画像を取り込む

声DAISY（デージー）」の制作を始めました。目次から見出しへ、ページ移動、しおりなどができ、通常の紙の読書が困難な方にも利便性が増しました。近年は、音声に加えて文字と画像を同時に再生できる「マルチメディアDAISY」を手がけています。その特徴は、①読んでいる所がハイライトで示されるので見失わない。②音声を聞きながら、同時に絵・写真を見ることがができる。③読みたいページ、見出しへ移動できる。④背景やテキストの色を変えられる。⑤文字の大きさや音声のスピードを変更できる。これらにより、視覚のほかにもさまざまな障がいでも読むことの困難な人々が、個人のペースで「読書」ができるようになりました。

東京YWCAの事業の一つ、児童発達支援センター「ギズガデン」では、未就学児を対象に療育を行っています。そこを利用して子どもたちに人気のある絵本をマルチメディアで製作しました。今後も時代や社会の変化に対応しながら、多くの方に利用されることをめざして、より対象を広げながら、読むことが困難な人々への支援を継続していきます。

東京YWCA職員 眞壁智未



Silent Night for Gaza報告

希望を生かし続ける～Keep Hope Alive

日本YWCAは2023年12月23日から25日にかけて、「空爆のない静かな夜をガザに」という想いを込めたサイレントアピール「Silent Night for Gaza」を呼びかけ、実施しました。イスラエルによる無差別な大規模軍事攻撃が続く中で、「少しでも見える形で停戦を呼びかけたい」という有志の声から始まり、日本と世界のYWCAの仲間たちに、また自分のいる場で何かしたいと思う方に、行動を呼びかけるものでした。地域YWCAのメンバーをはじめ、日本全国で多くの個人・団体や教会が呼びかけに

応え、路上に立ち、ボードを掲げてのアピールや、自宅や教会、それぞれの場からの写真やメッセージの発信によって、停戦と平和への願いを訴えました。その声や姿からは、現在行われている不正義に対し多くの人が「自分に何かできないか」という強い思いを持っていることが伝わりました。2023年のパレスチナYWCAクリスマスメッセージにこのような言葉があります。「このアドベントの季節にキャンドルを灯したり、鐘の音を聞いたりするとき、平和の君の誕生の地である聖地にいる私たちを思い



出してください。(中略) 私たち自身が、帝国支配の間にあっても互いを温かく迎え入れる火となることができることを忘れないでください。私たちが団結すれば、より良い世界が実現するのだから。遠い場所からでも、私たちのささやかな行動が、耐え難い困難の中で「希望を生かし続けること(Keep Hope Alive)」につながるために、少しでも多くの方がパレスチナ状況を知り、共に声を合わせることができるように、今後も発信を続けます。

- ご協力ありがとうございました
賛助費
浅原由美 阿部方子 大谷翠
大野綾子 梶原恵理子 河内常男
小谷充子 杉原壽子 武井真美子
徳永明子 富安邦子 中尾廣美
難波郁江 仁木三智子 藤井初子
藤野尚子 藤原玲子 牧甫
三宅文子 山本鉄子 湯前知子
淀川敬子
日本バプテスト同盟駒込平和教会
日本基督教団聖ヶ丘教会
福岡女学院中学校・高等学校
学校法人玉川聖学院
匿名
ピースメーカーズ募金
(平和を創り出す女性のリーダーシップ養成)
飯嶋祐子 大久保絹 大野綾子
加藤知子 金井淑子 木田順子
京野洋子 小林聡 坂口和子
雀部真理 篠田茜 高垣美希
富安邦子 難波郁江 仁木三智子
野田美由紀 東根順子 藤井初子
藤原玲子 毛利亮子
大阪女学院中学校・高等学校
活水中学校・高等学校
学校法人九州ルーテル学院
玉成保育専門学校
尚綱学院高等学校
尚綱学院女子学院
学校法人女子学院
日ノ本学園高等学校
山梨英和中学校・高等学校
学校法人横浜共立学園
日本基督教団扇町教会
日本キリスト教会沖繩伝道所
日本キリスト教団西千葉教会
日本基督教団ひばりが丘教会
日本基督教団都島教会
日本福音ルーテル小石川教会婦人会
弘前YWCA
福島YWCA
甲府YWCA
災害時支援募金
(国内外の災害被災者支援)
嘉屋陽子 東根順子

- 牧甫 山本貴美子
甲府YWCA
(オリブの木キャンペーン募金)
浅井正大 浅原千代 池長遊
大野綾子 小笠原公子 小笠原純恵
岡田淳子 加藤知子 木村浩子
小林聡 坂本純子 篠田茜
谷瀬未紀 常葉俊子 富岡美知子
富安邦子 中原牧子 難波郁江
仁木三智子 東根順子 樋口香里
平川幸子 藤井初子 正宗史子
毛利亮子 横田昌三 淀川敬子
日本キリスト教団千葉支区女性ヤスクニ集会
日本基督教団扇町教会
日本基督教団浪花教会 澤山会(婦人会)
学校法人横浜共立学園
大阪YWCA 大宮保育園
弘前YWCA
一般財団法人仙台YWCA
一般財団法人平塚YWCA
(ウクライナ支援)
阿部達 及川津紀子
野口由美 藤野尚子
学校法人江別若葉学園 元江別わかば幼稚園
学校法人横浜共立学園
学校法人佐賀ルーテル学園 ルーテルこども園
一般財団法人仙台YWCA
公益財団法人東京YWCA ウクライナ支援募金箱
一般財団法人平塚YWCA
静岡YWCA
一般財団法人呉YWCA
公益財団法人福岡YWCA
(パレスチナYWCA支援)
池田ゆう子 浅野勇介 磯村美保子
及川津紀子 梶原恵理子 嘉屋陽子
木村浩子 鈴木律子 瀧さおり
手島千景 富岡美知子 鳥屋良枝
東根順子 藤井初子 藤野尚子
本田雅和 山本貴美子 渡辺修一
宗教法人石嶺バプテスト教会
日本キリスト教団北須磨教会
日本キリスト教団横浜海岸教会

- 恵泉女学園中学・高等学校 宗教部
明治学院高等学校
学校法人横浜共立学園
公益財団法人東京YWCA パレスチナYWCA支援募金箱
公益財団法人東京YWCA 国領センター
甲府YWCA
新潟YWCA
静岡YWCA
一般財団法人平塚YWCA
一般財団法人呉YWCA
匿名
(ビルマ/ミャンマー支援)
遠藤真理
(能登半島地震被災者支援募金)
柴田幸子 高橋りえ子 武内富貴代
丹野美登里 長谷川恭子
東京YWCA まきは保育園
静岡YWCA
東日本大震災被災者支援募金
梶原恵理子 難波郁江 東根順子
日本キリスト教団佐世保教会
捜真女学校 同窓会・PTA
新潟YWCA
一般財団法人平塚YWCA
(カーロサポーターズ募金)
カーロサポーターズ 54件
(2023年12月16日〜2024年2月15日敬称略)

